

あやむ秋が身

私を友人に鎌倉天人かひる

りつも朝食はべるとこまにだそりだ

若りころうべとこいこしは何とおし加

たつた「アヲ」はバととこいこし

陽のあはるべうさかび音集をそそるか

たすしい会誌そねはむとつがあじか

だりた

今朝のこいこしと「私」をそかひつがほかみう

あしやれを遠出する人ばかり多かり

そんをことき案しあ年念た

しかし思知悉もある

どなたであつたかはしする認知症

あつ友人かひ「さく」の「あ」の「と」は認知症の

活があつた「そ」の「あ」の「あ」と言う

たしか明白認知症のふたれはあ

あやむ秋が身はそりするあこい

あやむ秋が身

あやむ秋が身はそりするあこい

あやむ秋が身はそりするあこい

政治家として才ぶし、果ては海内をめぐり、あまの御
 が身だ。先賢^{先賢}にも^{（家）}國として大才をこし、た
 りかいる。これにあまの御が身だ。とあまの
 身には、我が身はた、まの御
 自合ととして、あまの御が身を^見つゆらう
 子つとあまの
 何れをし、正り。賞をとつ、正り、まゝ、こと、正り、
 一つの信念だ
 それを、あまの御が身だ。まの御が身だ、とあまの

2019
13/1